



技術にこころをこめて75年



HITACHI

シンプルがいいね、技術も。

近年、「技術」はますます高度で複雑になってきました。専門知識を持った人や経験を積んだ人でなくては扱えないような機械もふえています。でも本来機械は、誰もが気軽に使えるものであるべきでしょう。これからの技術には単純明快なわかりやすさが必要です。いま日立はインターフェイスという言葉のもとに、人間と技術とのよりよい関係、誰もがかんたんに使いこなせる技術の実現をめざして研究・開発をすすめています。



技術との自由な対話
Interface

株式会社 日立製作所

宣伝部 〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL東京(03)258-1111(大代)

アジア大会の

金メダルをめざして

近藤 金博

ロサンゼルス・オリンピックのあとソウル・オリンピック出場と6位入賞、アジア大会では金メダル獲得という大目標をたてて、男子ナショナルは監督・野田、コーチ・津川、佐藤でスタートをした。しかし、昨年の大同問題のアクシデントで野田監督が直接指導から離れていたが、津川、佐藤がアジア大会、オリンピックまでの長期強化計画を着々と進めており、効果をあげて来た。

今年4月より、多くのファンの支持と関係者の協力により、野田監督の復帰でナショナル・チーム全体がより明るく活気が出て来ました。

61年度ナショナル・メンバーも決定した。このメンバーは国内最強であるが、世界のトップ・レベルにはもっともっと血のにじみ出る強化訓練を重ねることが必要である。

ナショナル・チームの目標(1.アジア大会での金メダル獲得、2.ソウル・オリンピックへの出場と6位入賞)を全員に再確認し、意識を高め、選手には①各自に攻守にわたる技術理論の徹底と集中力の鍛練、②防御に対する多システムの確立、③攻撃システムの研究開発、④攻守技術のスピードとパワーのアップ、⑤攻守ポジション別スペシャリストの養成、⑥闘争心の向上、⑦日本を代表する選手としての自覚と責任の遂行を目標として強化合宿を行なう。

○強化合宿(国内)

第一次強化合宿(4月21日～28日・大同特殊鋼)

・第二次強化合宿(5月19日～24日・大同特殊鋼)

・第三次強化合宿(6月24日～29日・本田技研鈴鹿、6月29日～7

月4日・大同特殊鋼)

○海外遠征合宿

・7月13日～8月13日、ユーゴスラビア各地

ユーゴスラビアに於いては、前半は各ポジションの役割を巾広く技術の修得とレベルアップを目的とし、後半はコンビプレーと戦術、戦略を主に各地を転戦し、8試合～10試合を経験することになっている。ユーゴ滞在中はロス五輪優勝チームを作った監督、コーチから指導を受けており、個人的な指導とチームとしてのコンビプレーのレベルアップは大きな効果をあげて来るであろう。

アジア大会直前には、気候などがソウルに類似していることから第四次強化合宿を9月5日～12日、北海道北見市に於いて最終調整を行ない本大会に臨むことになっている。

アジア大会の強敵国は、長身、体力を持ちヨーロッパ・スタイルの技術を着実に取り入れ、近年めきめきと力をつけて来た中国、パネのある脚力を使いコート狭しと走りまくり、強力な攻撃力を持ちソウル・オリンピックで盛りあがる韓国であるが、選手全員の総力戦で両国に勝って金メダルを獲得すべく頑張っていますので、皆さまのご声援を是非お願い致します。

※選手への「激励のことば」を受付けます。どんなことでも結構です。あなたの激励のことばが選手にとって大きな「力」となることでしょう。

激励のことばの送り先

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館

日本ハンドボール協会 強化部

大会 選手団 代表 アジア



支援役員 佐藤 豊二 (本田技研鈴鹿)
(1949. 10. 16生)



コーチ 津川 昭 (湧永製薬)
(1951. 8. 3生)



監督 野田 清 (大同特殊鋼)
(1946. 4. 5生)



G K (10) 矢内 浩 (大崎電気)
(1960. 8. 1生, 189cm, 85kg)



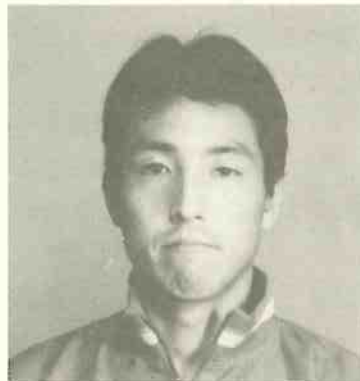
G K (12) 大畑 孝広 (本田技研鈴鹿)
(1959. 1. 9生, 184cm, 78kg)



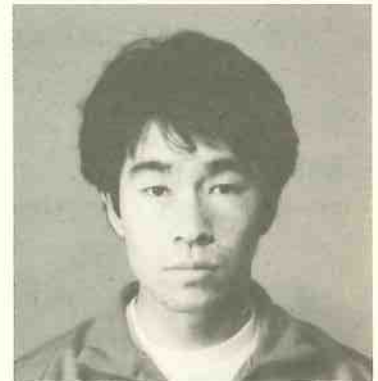
G K (1) 井藤 英忠 (湧永製薬)
(1959. 3. 10生, 185cm, 83kg)



F P (4) 玉村 健次 (湧永製薬)
(1961. 1. 16生, 182cm, 77kg)



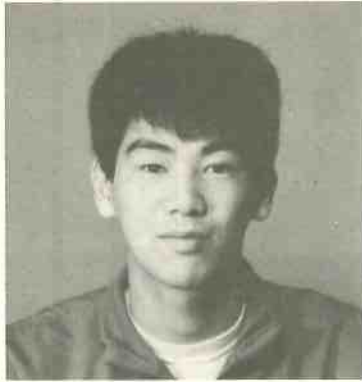
F P (3) 志賀 良弘 (湧永製薬)
(1956. 4. 4生, 188cm, 95kg)



F P (2) 西山 清 (日新製鋼)
(1959. 4. 8生, 182cm, 78kg)



F P (7) 内藤浩樹 (大同特殊鋼)
(1962. 8. 8生, 176cm, 77kg)



F P (6) 首藤信一 (大崎電気)
(1965. 1. 10生, 186cm, 85kg)



F P (5) 朝生和光 (山梨県職員)
(1962. 6. 21生, 174cm, 70kg)



F P (10) 田口 隆 (本田技研鈴鹿)
(1961. 7. 23生, 182cm, 78kg)



F P (9) 立木浩二 (本田技研鈴鹿)
(1960. 4. 28生, 184cm, 76kg)



F P (8) 高村誠一 (大同特殊鋼)
(1960. 12. 11生, 187cm, 80kg)



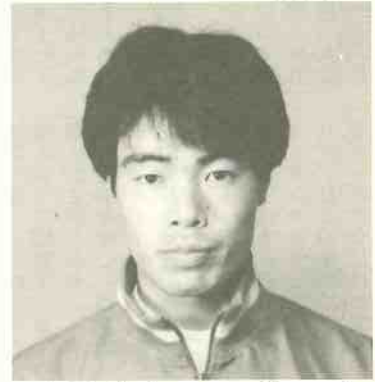
F P (14) 市川 修 (大同特殊鋼)
(1960. 3. 25生, 177cm, 73kg)



F P (13) 奥田新治 (湧永製薬)
(1959. 6. 11生, 184cm, 72kg)



F P (11) 宮下和広 (大崎電気)
(1961. 8. 31生, 187cm, 85kg)



F P (15) 藤井 泉 (本田技研鈴鹿)
(1959. 6. 26生, 181cm, 74kg)

全日本女子

グッドウイル大会

参加報告

7月10日〜20日/モスクワ

日本チームの戦績

▼第1戦	日 本 31 (141 111)	21 アメリカ	西ドイツ 19 (10 9)	15 日 本	
「得点」	野嶋9点、池上5点、武藤、岩村、小池、山岸各3点、寺沢、井沢各2点、前田1点。		「得点」	小池、野嶋各5点、山岸3点、岩村、前田各1点。	
▼第2戦	ハンガリー 21 (12 11)	16 日 本	▼第5戦	デンマーク 25 (15 13)	19 日 本
「得点」	野嶋7点、小池6点、岩村、近藤、井沢各1点。		「得点」	小池6点、前田3点、武藤、井沢、野嶋各2点、岩村、寺沢、近藤、山岸各1点。	
▼第3戦	ソ 連 40 (20 18)	18 日 本	①ソ 連 (5勝)		
「得点」	野嶋6点、小池5点、武藤4点、前田2点、岩村1点。		②西ドイツ (4勝1敗)		
▼第4戦	③ハンガリー (3勝2敗)		④デンマーク (2勝3敗)		
	⑤日 本 (1勝4敗)		⑥アメリカ (5敗)		

参加選手団の感想文

監督・井薫

グッドウイル大会に参加して

当初、アメリカとソ連の2ヶ国だけの、ベストプレイヤーの競技会の企画であった「グッドウイル大会」は、結局、約50ヶ国が参加する大規模な国際スポーツ大会となり、記念すべき第1回大会がモスクワで盛大に行なわれました。

ハンドボールの女子は、ソ連アメリカをはじめ日本など6ヶ国が出場、日本は緒戦のアメリカに31対21と大勝しましたが、残る4試合に敗れ5位に終わりました。

最大の敗因は得点力の低下で、ハンガリー戦16対21、西独戦15対19、デンマーク戦19対25で、この3試合に、2月の欧州遠征時の攻撃力をもつてあたられば、今回のGKを含めた防御の健闘を考えると、互角以上に戦える内容であり、残念です。

日本チームの得点内容は、従来速攻と鋭いカットイン、サイドシュートなどの小技の切れ味が主なもので、いつも大砲不在を嘆いていましたが、皮肉にも今回は、小池、野嶋を中心としたアタッカーは各試合とも一応の合格点であったのに比べて、他の部門が発達し

いきおい、アタッカーへの依存度が高く、個人プレーが多くなりました。コンビネーションアタックがうまく出なかった理由のひとつに、日本リーグ前期終了直後のチーム編成で、各プレイヤーが所属チームのカラーを出しすぎる傾向が多く、ピクアップチームのまとめ方に、一考を要すると思います。

多彩な攻撃手法が相乗効果としてプラスアルファの得点につながる訳で、チーム、プレイヤーともに、いつでも、どこでも実力が発揮出来るように、もつと心身と技術を磨かねばならないと思いました。

初夏のモスクワは、夜は11時頃まで薄明るく、朝は3時頃には夜が明けてくる白夜の季節で、睡眠には不都合でしたが、女子バレーの日本対アメリカを応援に行ったり、競技終了後、ポリショイサーカスの妙技に酔ったりで、暗くならない夜を楽しむひとときもありました。

国際スポーツ記者連盟の会長は、「疑いもなく、グッドウイル大会はオリンピックの代替大会ではなく、オリンピック運動が信奉する平和と諸国民の友好の理想を発展強化させながら、それを補う大会になる」と明言し、ソ連でも「わ

れわれソ連の選手やスポーツ・ファンも、この大会が純粋なスポーツ・イベントの枠を出て国際気候の温暖化を助成するだろう」の意見もあり、前回オリンピックの2年後で、次回オリンピックの2年前、だからこれは間違いなく世界的規模の、一大総合競技会になる、とする大方の予想どおり、4年後の第2回大会はさらに充実した大会になると思います。

コーチ・榎塚 正一

グッドウイル・ゲームス

世界スポーツの競技会を開催することに多くの問題が関連して優秀な選手が思う競技大会に参加することが出来ず片寄った集まりの中で大会が行なわれている。可能な限り選手が自由に競技に参加出来るように配慮すべきであるとの考えが主体となり、ソ連とアメリカの選手を中心に第1回目のグッドウイルゲームスが開かれた。

20種目の競技団体が技を競い、ハンドボールも男子6、女子6ヶ国が参加して競技が行なわれた。女子はソ連を代表としてハンガリー、デンマーク、西ドイツ、アメリカ、日本の参加であり、ハンドボールの大会にはめずらしく資本



第2戦のハンガリー戦を前にしてのあいさつ

主義国の方が多く参加した。大会の競技成績は5位に終り、5位の成績は選手もスタッフも満足できるものではなく、今回もまた国際大会での力の発揮するむつかしさを思い知らされた。チームや選手が力を発揮するためには、多くの条件を満たさなければならぬが、

日本リーグを終えて、十分な準備期間もたず大会に出発したことは、選手にとって満足の行く状態では試合が出来なかったであろうと考える。準備が整わなければ勝つことが出来ない弱い部分が表われたが、勝機は充分にあり、また勝つべき試合のデンマークと西ドイ

ツの試合を自らのミスによって落としたのは残念でならない。

試合内容で、今大会に特に速攻が成功せず、速攻が得点源と考えられなかったことは頭の痛いゲーム運びとなった。前回東ドイツ・ニューブランデンブルグ大会には、短い継ぎによる展開で速攻を成功させ、日本チームの1つの得点源

と考えることが出来て、攻撃の型が出来上り、後はショットパスの継ぎの中にロング、パスをどのように組み合わせ、相手コートとゴール前に如何にパスの回数を少なく到達することが出来るかを解決する方法を考えることであった。練習不足の中で試合に臨み、得点が20点を越すことが出来なかった原因は、やはり速攻の力を発揮することができなかつた得点のマイナストと考える。

承知のように、速攻とは防御が有利な状態から攻撃に移ることが最大の要因であり、対戦したチームで、ソ連を除けば失点は少なく、防御の分野での課題は少なく、速攻の展開が得点に結びつかないことが大きな課題であった。速攻はゲームの中で多く展開されたが、パスミス、途中でのコートバランスの崩れからパスを継ぐことができない状態、防御に動きを止められてしまう状態からシュートに結びつけられなかった。

世界の速攻展開の傾向として、縦の走りや横のパスを使って行な

うものが主流であり、縦の走りの中に多彩なパスを使い分ける。動きに依つても、大きい身体に俊敏さを加えた動作で、攻撃にも防御の帰陣も早く、日本の選手が小さくよく動くといったイメージはもはや現代の国際大会のハンドボールには通用しなく、すべて同じ条件と考えなければならぬ。

このような状態の中で、縦攻撃においてパスを送ろうとする時、パスミスやパスカットをされ、チャンスやパスカットが多くある。早さが同じ条件と変わった時大ききのハンデイがマイナスとなって表われてくる。現状では、大きさは解決することは出来ず、速攻による日本独自の型を作り、展開の中に折り込む戦法が重要であり、選手も国際大会ではこの戦法が重要であると意識するまで練習を重ねなければならぬ。

全日本チームは、クロス攻撃の中に縦とフェイントを組み合せる速攻を主体として練習を重ねているが、試合では縦の攻撃が多く、縦の速攻に習れ帰陣の早いヨーロッパチームに思うようにパスを継ぐことが出来なかった。得点として考えなければならぬ速攻で成功することが少なく、この状態が敗因として上げられる時、速攻を担当するスタッフとして心苦しく反省の中に研究を重ねて力として発揮出来るよう努力しなければならぬと痛感しております。

“まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

ホッ コク

北國銀行

本店

石川県金沢市下堤町

店舗

石川・富山・福井

東京・大阪・名古屋

京都・127か店

参加国のディフェンスについて

全日本チームのコーチングスタッフの一員としてグッドウイル大会に参加する機会を得たので、女子参加国のディフェンスについて述べてみたい。

○ソ連（優勝）

全試合を6-0でディフェンス・システムで通す。サイドを除いた中の4人の平均身長が180cmと非常に高く、また、GKも183cmと長身であるので、ロングシュートを打たせて速攻で得点する割合が高かった。特に、監督夫人でもある40歳のツルチーナ（179cm）のよみは素晴らしく、若い他のプレーヤーに的確な指示を与えてチームをまとめていたのが印象的であった。

○西ドイツ（2位）

3-2-1ディフェンス・システムと6-0ディフェンス・システムを併用していた。長身者の多いソ連に対しては3-2-1ディフェンスで、他の国には6-0ディフェンスで対抗していた。特に6-0ディフェンスにおいて、両45度のディフェンスが積極的にプレスに出てプレッシャーを与えるディフェンスを行ない、相手シューターを徹底して押さえこんでいたのが特徴的であった。

○ハンガリー（3位）

3-2-1ディフェンス・システムと6-0ディフェンス・システムを併用していた。比較的長身者の少ないチームであり、6-0ディフェンスは対日戦ぐらいで、大部年を3-2-1ディフェンスで通していた。

○デンマーク（4位）

3-2-1ディフェンス・システムと6-0ディフェンス・システムを併用していた。

○日本（5位）

6-0ディフェンス・システムと5-1ディフェンス・システムを併用した。5-1ディフェンスは全試合でも数分間で、大部分を6-0ディフェンスで通した。6-0ディフェンスでも、相手が長身者であるので、プレス気味のディフェンスを行なった。

○アメリカ（6位）

6-0ディフェンス・システムのみであった。

以上が各国のディフェンス・システムであった。今年の男子の世界選手権では、大部分の国が3-2-1のディフェンスであったので、女子にもその影響があるかどうか、大変興味深く観察した。

ソ連は長身者も多く、伝統的に6-0ディフェンスに強い国であるので、当然の戦術であろうが、他の国々ではやはり3-2-1ディフェンスが積極的にとり入れられていた。男子と異って、まだ動

きのスピード、プレスの激しさが足りないような気がしたが、それはこれからの課題であろう。

前田 重子

グッドウイル大会について

初戦のアメリカ戦を勝った時には、もしかしたら：と甘い考えをおこしてしまい、それがいけないのか、次のハンガリー戦、後半の西ドイツ、デンマーク戦と、日本チームの悪さばかりが目立ったゲームになってしまいました。

世界ナンバー1のソ連チームには、胸を借りるつもりで試合したのですが、やはりほとんど相手にされていなかったようです。

ハンガリーには、前のニューブランデンブルグ時のような迫力は感じられず、あまり調子が良くないという事がわかっていたはずだったので、自分たちがそこにつけ入る事ができず、自滅してしまいました。

他の西ドイツ、デンマークにも同点、逆転のチャンスが何度もあったにもかかわらず、得点に結びつける事ができず、時間ばかりが過ぎて、余計あせってミスにつながってしまおうという、最悪のパターンで負けてしまいました。

あと少しで、という場面で踏ん張る事ができ、自分たちの本来の力を発揮する事ができたら、き

ともっと良い成績が残せたと思います。そのあと少しというところの精神力が、今の全日本に不足しているという指摘を受けました。今後まずみんなで、これを克服していかなければならないと痛感しました。

いつもいつも、反省する事はかなり多い海外遠征ですが、次の機会が与えられたなら、ほんの少しでも満足の方が多くなるように努力するつもりです。

葛生 豊子

GKから見た大会の印象

グッドウイル大会は、ソ連、西ドイツ、ハンガリー、デンマーク、アメリカそして日本と6ヶ国でリーグ戦を行ないました。この大会では、時間的にもたいへん余裕がありましたので、他の試合を見学する事もでき、私たちの試合の参考になると思いましたが、実際に見るとやるとでは大きな違いを感じました。

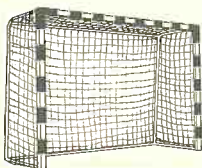
ソ連は特にゲームをしてみないと実際の強さはわかりません。いくら特徴を覚えていても、シュートのスピードは計れませんでした。セットで得点させるより、ソ連のGKからワンパスが通り、速攻で得点が3分の2である。ロングシュートがノーマークシュートと同じ感じがするくらいでした。し

SANWA TAIKU
三和体育製販株式会社

〒332 埼玉県川口市緑町9番15号 川口 (0482) 56-2368(代)

検定合格品

ゴールポスト	●S-3423	¥180,000	木製
	●S-3430	¥410,000	アルミ製
ゴールネット	●S-3426	¥32,000	スーパーポリ
	●S-3427	¥25,000	ポリエステル



かし、40点ゲームは私としては残念でした。その他のチームとは粘りのある守りの試合ができたと思います。得点は物足りなさを感じますが、GKからのパスのつなぎが遅い点に問題があったと思いい反省しています。日本では通るパスもここではカットです。思いきりのよい、正確なパスのつなぎを身につけたいと思います。

また、日本の失点の原因は相手のポストプレーヤーに得点されてしまった事です。どのチームもポストには大型プレーヤーを起用し、打てば得点もしくは必ずPTである。必死に守っても日本が上回るには課題が大きいと思いました。シューターはGKが待ちきれず、動いてしまっから楽に打つ耐久力がすぐれているプレーヤーがほとんどで、ずい分悩まされました。私にとって特に大会で男子の試合を見る事ができ、GKのスケールの大きさ、シュートをキープする時のためのタイミングの良さを見て、新たにGKの魅力を感じました。

山岸 和子

ホテルの生活

モスクワの中心部にある世界最大の近代ホテル「ロシアホテル」に、各国の選手団が宿泊しました。このホテルは12階建てで、1階

につき310部屋あり、宿泊人数はだいたい5千人以上となります。1周が約1kmあります。どこを捜してもまずこのホテルのように5千人以上も宿泊できる所はないでしょう。

部屋の中は日本のホテルと変わりはありません。テレビ、冷蔵庫があり、バストイレ付ですから、毎日午後になるとルームサービスがあり、タオルやシーツ、カパの取り替え、掃除までもしてもらいました。生活面では、そんなに不自由はしませんでした。

部屋の鍵は、各階を管理しているジェジュールナヤから受け取りました。このジェジュールナヤは24時間でした。その他、何部屋置きかに監視員がいました。やはりホテル内で何かよくない事が起きないかどうかを見張っているのだろう。

ホテルの外には警備員と思われる人たちが20人くらいで見回りをしていました。これだけ厳重にされているだけあり、ホテルの出入りも厳重でした。選手、役員一人一人の身分証明のような「IDカード」というものを、いつも身につけていなくてはいけなかったのです。このカードがないとどこへも行けないのです。それだけ重要なものなのです。

選手が問題なく快適に過ごすことができるよう、ホテル側も万全を尽くしていたのでしよう。

井沢由美子

グッドウィル大会に参加して

全日本に入り、今回2度目の遠征に参加させて頂きました。このグッドウィル大会は今年が第2回目という事で、意義のある大会だったと思います。

アメリカ、ハンガリー、ソ連、西ドイツ、デンマークと5戦したのですが、1勝4敗で、もう一息で勝てる試合もあったのですが、アメリカ戦の1勝だけでした。

私は今回試合に出て、自分の役割の大切さを知りました。左ききである私は、左からの動きを、もつと生かさなければと思いました。外人選手の中にも左ききの人がいました。左ききの特長を出していました。中でも印象に残っているのが、アメリカのサム・ジョーンズさんで、左45度からのロングシュートや、視野外からのシュートはすばらしいと思いました。右ききの多い選手の中で左ききの人は、有利だと思いました。

この大会では各チーム一人は左ききがいたと思います。サイドシューターでの左ききでは、確率のよいシューターがいました。自分の持ち味をしっかりと出していると思いました。

この遠征で学んだ事を忘れずに、

左ききの動きを生かせるようにこれからも頑張っていきたいと思えます。そして外人選手を相手にした時、誰にも負けない程の左ききの選手になりたいと思います。

武藤夕起子

赤の広場クレムリンについて

私たちの宿泊したホテルのすぐ近くには、赤の広場やクレムリンなどモスクワを象徴する物が沢山あり散歩するにはとても最適な所でした。クレムリンは、日本でもいうと城壁の意見で市の中心にあり、モスクワ発祥の地となっています。クレムリンの他に歴代皇帝の戴冠式場のウスペンスキー寺院、全市の見張台と信号塔に使用されているイワン大帝の鐘楼、ソ連最高会議が行なわれる大クレムリン宮殿などが20の塔と長さ2・2kmの赤い石造りの壁で作られた三角形の城塞に囲まれていてクレムリンを中心に放射状に道路、鉄道、地下鉄が延びそれを環状の道路、地下鉄でとり囲んだ円形都市を築いています。

その城塞の前には、赤の広場といってモスクワで一番美しい広場があります。赤の広場の中央にはレーニン廟というソ連建国の父レーニンが臨終時に眠っている建物があり、月、金曜日の定休日をはかして毎日何kmもの行列を作っています。

くらし、ひろげるジャスコのカード

会員募集中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。

ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。



- お支払いもいろいろ
- 月々のお支払いがラクなリボルビング払い
- 手数料なしのおトクな一回払い
- お求めはいま、お支払いはボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店サービスカウンター又は、販売員におたずねください。



います。一度フリータイムの時、通訳の人が1時間も待たせられ、それからと言われたのですが、あの行列を見て、また待つ事にあまり慣れていない私たちは並ぶのをやめました。でもソ連の人たちは何の苦もなく並んでいるので、これはやっぱり国民性の違いが出てるなあと感じてしまいました。

また、そのレーニン廟には憲兵さんが立っていて、朝7時に交替の時間があり、それでもまた少し人だまりができます。だいたい7時3分前に交替する憲兵さん2人とそれを誘導してくる人1人と合計3人の人が南門から出て来て手足を高々まっすぐ上げて来ます。そして7時の鐘で一瞬のうちに交替し、まるでそれはぜんまいじかけの人形のようにです。また、赤の広場の回りには、南端に幻想的で色彩豊かな聖ヴァシリイ寺院、北端にある赤レンガの建物、国立歴史博物館正面には国営百貨店グムなどがあり、いつも広場はにぎわっています。また、それらの建物もレーニン廟のようには並びませんが、ほとんど待たないと入れません。これは他の所へ行っても同じで、デパートなどは開店前に行列ができる程です。休日ならまだしも平日でそんな人ごみができるなんてちよつと信じられない光景でした。

今回の遠征は、本当に近くに有名な建物が手に取るよう沢山ある

ので、また歩いて近くの距離にあるのでたいくつをするという事がなく、いろんな所を回ってみました。

小口 明子

白夜とソ連について

ソ連について驚いた事は、大きな建物が多く、日本のように密集しないで広々と建っているという事です。作りもとても繊細で、感動しました。また、マンガのようなおもしろい建物もあり、とても楽しく見る事ができました。

いつも朝早く起きて町の中を走りましたが、ゴミなどは全然落ちていなく、とてもきれいな町というのが印象に残っています。今思うと、眠いながらも早く起きて走った事が良かったと思っています。夜になってみると、ビックリした事は、ソ連の夜は白夜で、10時過ぎまで明るいという事です。時間の感覚がなんかずれてしまったようでした。9時頃外を見ていると、犬と散歩している人もいました。夜は外に出なかつたので、夜のソ連も歩いてみたかったと思います。

また、一日観光があったのですが、どこに行っても長い行列が見られて、1時間、2時間並ぶのはへっちゃらという感じでした。私たちもその列に入ろうとバスを降

りましたが、あまりの列の長さにまいってしまい、やめてしまいました。ソ連の人はのんびりしているなあと思うようになりました。

それからちよつと残念だったのは、地下鉄に行けなかつたという事です。ソ連の地下鉄はとてもきれいで、見る価値があるといわれていますが、行けなくて本当に残念です。

ソ連に行ってみて、本当に雄大な国だなあと思いました。

磯山 弘美

遠征をふり返って

私は生まれて初めて、共産国の地をおとずれる機会を持った。ソビエト連邦が、モスクワを中心として、他の国々を招待して、「グッドウィル大会」を開催した。私は、その大会に全日本ナショナル選手の一員として、参加できたことをとてもうれしく思います。なお、その大会に参加したことによって、自己プレーの不足している所、世界各国に対する日本ハンドボールのレベル、生活習慣の違いなど、今までにない、貴重な体験をしました。

試合の結果は思わしくなく、1勝4敗でした。私が出場したのは対デンマーク戦だけだったので、ほとんどの試合をスタンドで観戦した。見ている限りでは、自分た

ちの力を出しきれなく、勝てる試合も負けて終ってしまったような気がしました。

特に、ソ連チームの一つ一つのプレーには、驚いた。もちろん、日本の体格とは全然違って、背も高いし、横にもあるし、パワーは天下一品のものを持っている。しかも、そのような体格を持っているながら、動きが機敏で、ディフェンスが前につめてもシュートが入ってしまう、あのパワーは、日本には、ないと思いました。

私も、この大会で学んだ多くの貴重な体験をもとに、階段を一步、しっかりと、歩んでいきたいと思っています。

小池 宏子

シニーターから見た今大会の印象
参加チーム6チーム中、5位に終わった今大会を振り返って、得点20点を常に一つの目標としているこのチームで、速攻のミスが多かつた事と、セットでの点が取れなかつた事が勝ちゲームにもって行けなかつた、一つの大きな原因になつたと思います。

速攻でのミスは、私の題とは、すこしはずれるので、シュートの反省点をあげてみたいと思います。ロングシューターがシュートを打ち、決める事により、ディフェンスが前に出て、段差ができ、カ

日本が生んだ世界のボール

日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)



タチカラ シムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。

TACHIKARA

タチカラ株式会社

ットインやブロックブレイなどが効果的になってくるわけですが、さがっているディフェンスに対して、ロングシュートが入らなければ、ディフェンスに前に出る必要性はなく、打たせてとるという、意中のディフェンスができてしまう。

ロングシュートが多く、サイドシュートやポストシュートが少なかったのは、ロングシューターがロングとしての役割りを果たしていなかったため、サイドやポストから打てる状況が作れなかったという所に一番大きな原因があると思う。

下がつて高い壁を作られた時に、ブラインドを使ったり、コースを打ち分けるなど、まだまだできないので、勉強していきたいと思えます。

前回のニューブランデンブルグの大会では、前へつめるディフェンスが、多かったが、今大会はさがつて守るという所が多かった。

日本はなるべくディフェンスラインを高くして守るようにしたが、間が広いので、入り込まれたり、押し込まれたりして、強引に力でもつていかれるケースが多くあった。

体格のいい外国人に対して、日本の選手は、背も小さくきしゃやであるので、力で押し勝つような強引なプレーはできないので、身体の大きさと負けても、スピード

などでは負けないよう、小さい人のような動きやパワフルなシュートが、打てるような、身体作りや動き作りなども、大切な事だと思いました。

寺沢 路子

モスクワの休日、シヨツピング

7月10日から7月20日まで約10日間、ソ連のグッドウィル大会に参加して来ました。グッドウィル大会というのは、規模が大きく、全スポーツの選手が同じホテルに宿泊し、何日かにわたって試合を行なうのです。

ホテルはクレムリンの近くで、窓からは、聖バシリイ寺院などが見え、とてもきれいでした。シヨツピングなどは、ホテルの隣りに外国人旅行専用のペリョースカがあり、そこは外貨のみ通用し、免税なので市価より安く買う事ができるのです。種類も豊富で、毛皮、キャビア、コハク細工、マトリョーシカなどがありました。

休日には、バスでモスクワ大学(36階建て)赤の広場へ行きレーニン廟の中に入る事ができたのですが、すごい列で2時間は待たないと入れないのです。ソ連の人々は、いつもこうして列を作り、時間をかけてでも入るそうです。赤の広場は、モスクワで最も美しい広場で、ステンカラージンの処刑

の地、10月革命など歴史的事件の舞台にもなった所だそうです。

休日とかゆつくりできませんでしたが、2、3人でクレムリンなど散歩に行き、とてもきれいな街だと思いました。

近藤 育子

大会で見たジュニアの選手たち

7月10日ー20日までの10日間という短かい期間でのグッドウィル大会、ハンドボール部門でしたが、オリンピックの次の大会といわれるだけに、規模がすごく大きく、とても盛大でした。

ハンドボールだけの大会かと思つていましたが、陸上、柔道、レスリング、体操、バレーボール、バスケットなどいろいろな競技がモスクワで行なわれ、日本からは柔道、バレーボール、体操などが出場していました。体操の選手たちは、小学生の子供たちばかりで、「こんなに小さな時からこんな大会に出場できて素晴らしいなあ」と思いました。ハンドボールでも、日本代表となればやはり、実業団や大学生が主となるわけですが、この体操の選手たちは、ハンドボールからしたらジュニアのジュニアぐらいの年齢層になるわけですが、「ジュニアの子たちがシニアに上がったなら素晴らしい選手になるのではないか」と思っています。



食事の時はみんなくつろいだ表情だ

グッドウィル大会のハンドボールでは、ソ連、西独、ハンガリー、デンマーク、アメリカと日本の6カ国で戦いましたが、どのチームを見ても、必ずジュニア上が入っていました。日本のメンバー

でも、ほとんどの人がジュニア上であり、やはり自分も今年度からジュニア上がりのシニアメンバーの一員です。

第4、5回世界選手権大会で見た選手やイタリアのインテラムニ

アカツプで見た選手、たくさんジュニアでの大会で見た人がシニアで国家代表として立派に戦っています。名前をあげればきりがありません。名前でも印象的な選手としては、世界一のソ連でしかもアタッカーというかポイントゲッターとして活躍している背番号8番のナタリー選手です。身長も他の選手に比べても大きく、太いわりにはなかなか機敏な動きをして、この大会でも毎試合10得点前後は決めています。日本の試合でも13得点も決められてしまい、堂々たるものでした。

今大会で自分のプレーが通用しなく、とても考えさせられました。これを良い機会にこれからの練習方法、目標など考え直し、一つ一つのプレーを正確にしていきたいのです。

岩村 英子

ポストブレイヤーから見た大会の印象

第2回のオリンピックにしようとして、ソが企画した「グッドウィルゲームズ」に私たち全日本女子ハンドボールチームが招待され、7月13～18日の5日間、ソ連、ハンガリー、西ドイツ、デンマーク、アメリカの5ヶ国を相手にゲームを行なってきました。

ポストブレイヤーの私自身から

見た対戦相手5チームの動き、また私たち全日本の動きを感じたままにあげてみたいと思います。5チーム全てに共通して言える事は、ロングブレイヤーが絶えずポストへのパスを狙っていたという事です。ただ単にポストブレイヤーがノーマークになるのを待ってパスするのではなく、必ず自らシュートを狙い、DFをひきつけ（もちろんDFが前へつめなければシュートです）、最後まで徹底してロングとポストのコンビ、パスを狙うという事です。そしてポストブレイヤーは、パスが入れば、シュートがPTをこれもまた必ず得点に結びつけ、これは身体が大きいにもかかわらず、ボールを持ってからの動きがとて素早いという事で、キャッチした瞬間にはもうシュート体勢に入っているのです。しかも、それぞれブレイヤーが自分の役割を確実にこなし、私たち日本のDFからいえば、ロングにつめなければ打たれる、ポスト、サイドを守らなければ得点されるという、体格の違いと除いても、やはりバステクニクは当然学ぶべきものがありました。

そして、日本は体格の違う相手に同じような攻撃では通用しないため、ロングブレイヤーに対してのアシストブレイヤーが重要なポイントとなるわけです。正面、縦ブロックや、クロスに入り打たせたり、その時のカットインなど動かない

DFに対し、いかにすき間を作るか、スキをつくかです。それぞれ相手が力をつけてくるのに対し、私たちはクロス、ブロック、カットインと動きをもつて全員が足を使う動きをしなければなりません。体力、気力の充実をもつて臨まなければ本場に吹っ飛んでしまうのです。

ポストブレイヤーの私たちにあって、各チームの同じブレイヤーのシュートに入る時の素早い動き、体勢、ロングとの合わせのタイミングなど本場に勉強になりました。この12月の世界選手権へ向け、今大会で感じた事を含め、新たな気持ちで日々の練習に励み、がんばりたいと思います。

池上 由美

グッドウィル大会の印象

政治がらみのポイコットでオリンピックの片肺が現状となつている今、7月4日から20日までモスクワとタリンなどを会場にして開かれたこの大会の第一印象は、私たちがモスクワに足を踏み入れて初めてわかったその規模の大きさでした。種目18、参加国約50、選手数約3000、これ程の規模の競技会の準備はとも1年や2年でできるものではないというのが通説ですが、実際参加してみても少しも不安はなかったし、運営の

スムーズさには大変驚きました。それもこれを政府と社会団体の物質的・精神的支援と、80年オリンピックを成功させた経験に裏付けされているようです。

ハンドボールは、13～18日にかけてモスクワで行なわれました。

参加国は男子がソ連、アメリカ、チェコ、ポーランド、アイスランド、女子はソ連、西独、ハンガリー、デンマーク、日本、アメリカで、2つの会場に分かれて男女交互に試合が行なわれていきました。両方の会場ともとてもよく整備されていて、その中でも素晴らしいなあと感じたのが電光掲示板でした。両チームの得点はもちろん、個人別の得点がロシア語と英語で交互に表示され、また退場者が出た時は、その背番号と残りの時間がデジタルで表示されるのを見て、そのスポーツホールが（ソ連という国が）かもしませんが、ハードボールの競技にとても気が配られているようで羨ましく思っていました。

街を歩いていてよく目についたのが、警備員のような警察官のような、ただじっと立って監視している制服姿の人たちでした。街のあちこちでも見かけたし、ホテルの中や外は一晚中、また私たちがホテルとスポーツホールを往復するバスの中にも常に2人同乗する光景は、さすがに社会主義国の親分という感じでした。

こんなモスクワの人々も、どの

実績と信頼の公式試合球

イールマボール



ALL OVER THE WORLD
IRUMA
ハンドボール

日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2

入間川ゴム株式会社
東京・埼玉・大阪・名古屋

種目においても優勝争いをして
いる母国の健闘ぶりに毎日テレビ
の前に釘づけになっていたようで
看板やネオンがほとんどない街で
ひとときわ「グッドウィルゲーム
ズ・モスクワ'86」の旗が目立っ
ていました。

商業化の傾向が強いといわれ
る大会ですが、私たちは米国籍
とソ連勢の中に入って、それはハ
ンドボールに限らず、世界のトッ
プレベルのゲームを見、実際に世
界の壁を感じ、またそういつ
た人々とのコミュニケーションを
もう二度と訪れることがないであ
ろうソ連という大國でできたこと
は、大変な光榮です。名譽ある第
一回大会に参加できたことを誇り
とし今後の糧にしたいと思いま
す。

野嶋ちえみ

通訳の二人とソ連人

チェルノブイリ原発事故をは
じめ、数々のニュースなどでも暗
い印象ばかりをもつソ連（モスク
ワ）で初のグッドウィル大会が
なわれ、私たちの全日本女子チ
ームが参加。

日常語として使われているロシ
ア語も、おはよう、ありがとう程
度しか話せないまま、不安ばかり
でソ連に入国しました。が、そん
な私たちに思いがけない二人の
“助っ人”が待っていました。

その二人とは、モスクワ大学で
日本語を学んでいたというスラワ
トさんと、同大学でやはり日本語
を学んでいるというユースチャ
ンさんでした。お二人共、日本語
がとても達者で、日本のことわざ
歴史に興味をもつてられ、この大
会中にも、お二人のおしやべりに
よるエピソードが沢山ありました。

一つは、会場に向うバスが道
間違え、練習時間にまにあわない
と、皆イライラしている中に、ス
ラワトさん、片手にマイクを持ち
登場。『井さん、急いでいる乞食
はもらいがすくない』と言いま
すね』と一言。さすがの井監督も
あつげにとられるありさまで、ス
タッフ、選手一同、ソ連人の強さ
を知らされました。

他にも面白い物の件などで、安
店を教えて欲しいと頼むと、また
スラワトさん、『安物買いの銭失
い』と言いますよ』と今度は説
教されるありさまで、一本とられ
てばかりでした。

もう一人のコースチャンさんも
とても歴史に強く、その事を話さ
れる時の目はとてもするどく、歴
史に対し、私より詳しくかった事
言うまでもありません。

1週間の大会を終え、最後の二
人の挨拶の中にも『皆さん、ご静
聴ありがとうございます』のし
めの上手さには驚きました。

大会期間中、このお二人がいな
かったら、どうなっていたらだろ

と今思っています。本当に助かりま
した。是非、日本にも来ていただき
あのジョークを沢山の方に聞いて
いただきたいものです。

山内 香代

食事、ホテル、 レストランについて

モスクワ空港から1時間程で、
今回滞在したロシアホテルに着
ます。ホテルの敷地面積そして規
模は広大なものです。5千人もが
宿泊できるというホテルは、今大
会大半の選手たちが宿泊したの
だろうと思います。ホテルには広
い中庭があり、各階ごとにフロント
があります。一人一枚ずつ部屋の
番号を書いたカードを持ち、それ
と交換に鍵をもらいます。カード
がないと、いつもやさしそうに笑
っているフロントの女性たちも一
変して「二エツト」と見向きもしま
せん。それでも遠征半ばの頃には、
姿をみるとすぐに鍵を渡してくれ
ました。時には、わけの分からぬ
ロシア語で話しかけてきますが、
私たちはただニッコリすることし
かできませんでした。ホテルの出
入口には、時間を限らず警官がい
て少し異様な感じですが、慣れて
くるとあまり気にもなりません。

ホテルでの食事は、バイキング
形式で、朝は満足ですが、昼、夜
となると、量的にも質的にも不足

でした。日本食が恋しくなったこ
とが多々ありました。それでも放
射能の関係で、食べられないと思
っていた野菜や果物を口にできた
のは、少し驚きました。

遠征の半ばに、モスクワでも有
名なロシア料理のレストランに行
きました。全く見当がつかないロ
シア料理というのに、みんなの
期待は大きかったようです。席に
つき、そこにあつたものは、塩っ
気たっぷりの魚や肉。少し期待は
ずれて、みんなあまり食はずすま
なかつたようですが、それだけに
ジャンペンの空くのは早いみたい
でした。ソ連に限らず、外国に行
くと、日本人の私たちが、やはり
日本食がいちばんと感じているよ
うに、他國、各人の人々も自分の
國の料理がいちばんと思いがら
食べていたのではないでしょう

時實 良枝

ポリシヨイ・サーカスについて

最初にサーカスを観に行く事を
聞いたけれど、あまり乗り気では
ありませんでした。私自身サーカ
スという物自体に、興味もなかつ
たし、子供に対してのものだと思
っていたからです。けれども、実
際に行つて、観てみると、子供ど
ころか、大人が十分に楽しめるも
のだと感動しました。各國で、巡
業するときはもちろん、テントで、

行なわれます。ここでは、ポリシ
ヨイサーカス専用の会場なので、
設備とかもすごかったです。

オーピングから、驚きでした。
それと、バックミュージックも、
生のオーケストラの演奏なんです。
会場は、満員でした。私たちも、
観る日を決めていたのに、チケット
が手に入らず、15日が17日にな
ってしまいました。スケボアの演
技から始まって、クマが出てきて、
いろいろ手伝わっていました。とて
もかわいかったです。それから、
アルミのお皿のようなものでのフ
リスビー。3人が次々に投げ
る、1人の人が、全部落とさない
でキャッチするものや、こん棒、
それから、馬乗りもありました。
そして休憩があるんです。アイ
スクリーム、パン、ジュース、お菓
子などが、売っていました。休憩
が終わって席にもどつてると、今
まで演技を行っていた所が、円形
のテーブルに変わっていました。シ
ンク口あざらしなども出てきま
した。

サーカスにはやはりピエロの存
在は大きいんです。ピエロの人は総
合的にいろんなものをやりこなさ
ないといけないと思つた。体がス
ゴク柔らかくて、いろいろな演技
する人もいた。

サーカスが終つてからも、感動
の余韻が、少しの間残つていま
した。日本もこういう大人、子供に
区別することなく楽しめるものが
もっと、あるべきだと思つた。

女子ジュニア イタリア遠征報告

インテラムニアカップは第7位

女子ジュニア・ナショナルチームは、7月2日から19日まで、第14回インテラムニアカップとホンジ国際に参加のため、イタリアへ遠征を行なった。

成績は、10ヶ国が参加したインテラムニアカップでは7位、ホンジ国際は参加5ヶ国中最下位の結果であった。しかし、この遠征で対外国チームとの試合にも次第に慣れ、攻守の面で多くのものを学びとって来ており、ジュニア選手たちの今後の大きな成長を期待したい。

第14回インテラムニアカップ

▼第1戦

日 本 31 [1813 | 16] 14 シリア

○：初戦であり、外国チームと初めての対戦ということもあり、全体的に緊張度が強く、一人一人のプレーヤーが、表情、動きにも固さが見られた。

ディフェンス面においては、自分のマーク・プレーヤーをはずし、ロング、ミドル・シュートに対する詰めが甘く、また、ディフェンス同士のコンビネーションが噛み合わない。そのため、一対一のフェイントから簡単に抜かれるケ

スが目立つ。

攻撃面では、単なるパス・フェイントからポストへのパス攻撃だけに終始し、単独速攻、速攻に移る際のパスミスが多く、得点に結びつかない。

初戦、初体験試合といえども、基本的な技術のミスが多く、納得のゆかないゲームであった。

【得点】市来6点、大林5点、佐藤、道上、白鳥、新田各3点、太田、中山、武津、鈴木各2点。

▼第2戦

韓 国 41 [2219 | 1112] 23 日 本

○：前半五角の展開であったが、残り5分位から速攻による連続失点を許し、前半7点差で終る。

この原因は、パスカット、単発ミドルが韓国の速攻を許す原因。

後半開始早々、単発ロング、パスカットで連続失点が続く、差が一方的に広がる。攻撃の中央寄り、パスワークのスピード、テクニクが不足しており、サイド攻撃が少ない。一対一のディフェンスは簡単に抜かれてしまう。

韓国チームは、個人個人の能力が高く、ディフェンスに変化に対応して適応力、変化能力に秀れており、センタースリーのヨーロッパスタイルの中にフェイント力、ロング、カットプレー、サイド攻撃と幅広いセット・オフENSEス力を駆使し、そして速攻の展開力に富んでいる。

日本の課題としては、アウトプリーの徹底、パスワークのスピードとパスプレーの変化、フェイント力、ディフェンス変化に対して切り換え動作の速さ、個人のディフェンス力の強化が必要。

【得点】新田5点、佐藤、中山各

4点、武津、市来各3点、白鳥2点、道上、大林各1点。

▼第3戦

ブルガリア 32 [1814 | 719] 16 日 本

○：（得点内容）「日本」速攻2点、ミドルジャンプ、ステツプ5点、サイド4点、フェイントでのカットイン、PT5点。（ブルガリア）速攻4点、ミドルジャンプ1点、サイド7点、ポスト4点、フェイントでのカットイン、PT6点。

以上の得点状況で明白な通り、速攻による失点が非常に多く、日本側の単発シュートが失点につながる。

前半はやや五角の闘いであったが、攻撃の単調さが後半相手ディフェンスの餌食となり、速攻を許し、ロングシュートを頼りとするセットオフENSEではなく典型的なセンタースリーのずらし攻撃で、サイドシュートがかなり多い。また、速攻はセンタースリー・ポジションそのままの速攻で、クロスプレーによる速攻は全く見られなかった。

【順位】佐藤、坂倉各3点、大林、常石、白鳥各2点、工藤、道上、武津、市来各1点。

▼第4戦

スペイン 29 [1316 | 711] 18 日 本

○：前3戦の反省を同様、ディフェンス一対一の強化とコンビデ

ィフェンスの徹底が必要に思う。スペインは典型的なセンタースリー・オフENSEであるが、一人一人のフェイント力でずらしを誘うのではなく、位置のずらしからパスプレーでのずらしが多く、特に日本側ディフェンスは高い位置での詰めで臨んだために強引プレーにふり切られ、ポスト、サイドでの得点を許す。

しかし、下げた一線ディフェンスに後半中ばディフェンスを試みたならば、失点が極端に押さえられた。

この反省からディフェンス能力、チーム・ディフェンス能力をいろいろな型で適応させる能力を養う必要があると感じる。

【得点】佐藤、市来各4点、坂倉、大林、白鳥各3点、道上1点。

▼第5戦（7・8位決定戦）

日 本 33 [1419 | 915] 14 イタリア

○：対外国戦に慣れて、速い詰めのディフェンスもやや徹底されて、単調なパスワークと個人技量の弱いイタリアに対して効果的なディフェンスを敷くことが出来、インターセプト、シュートブロックが容易であり、攻撃のコンビネーションが噛み合い、多彩な攻撃での得点をあげることが出来た。

【得点】市来7点、白鳥6点、中山5点、佐藤、道上各4点、大林3点、武津2点、坂倉、新田各1点。

▼第1戦

チエコ 23 [1211-107] 17日 本

○：テラモ大会での体験が徐々に効果を現わし始め、一対一のデ
イフェンス力、タイミング、そし
て味方同士のフォローが巧くかみ
合ってきた。

ただし、チエコ・オフフェンスの
ポスト・プレーヤーが、エリアラ
インを巧みに位置を変化させ、ポ

ストプレーによる失点が多かった。
得点は、個人のフェイント力、
速攻によるところが多かったが、
やはり単調なボール回しが多く、
パススピード、パステクニックの
習練が必要に思う。

「得点」市来5点、大林4点、佐
藤、白鳥各3点、道上、新田各1
点。

▼第2戦

韓 国 35 [1718-910] 19日 本

○：点差ほどの内容の悪さでは
なく、やはりキャリアの豊富な韓
国が日本を上回った。

前半は、チエコ戦と同様ポスト
プレーによる失点が多く、速い詰
めの効果は現われているが、パス
テクニックの上回る韓国が巧くポ
ストへのパスをつなぐ。試合の積
み重ねによってデイフェンス力の
強化は計ることが出来るが、セッ
トオフフェンスに関して、やはり一
朝一夕にコンピネーション、シユ

トルジャンプ、ステップ7点、ポ
スト3点、カットインプレー、P
T3点、速攻2点、サイド2点。
《中国》||ミドルジャンプ、ステ
ップ7点、サイド7点、カットイ
ンズレー、PT4点、速攻8点、
ポスト8点。

1ト力、フェイント力が養われな
いだけに、個人の現有する能力に
頼るのはいたしかたない。それ故
に、攻撃が単調になるのは今回の
最大の反省である。

▼第3戦

中 国 34 [1717-810] 18日 本

○：（得点内容）《日本》||ミ
ドルジャンプ、ステップ7点、ポ
スト3点、カットインプレー、P
T3点、速攻2点、サイド2点。
《中国》||ミドルジャンプ、ステ
ップ7点、サイド7点、カットイ
ンズレー、PT4点、速攻8点、
ポスト8点。

集中力を欠いた試合であった。
単調なミドルシュートからゲーム
が開始されたが、中国GKの巧守
に阻まれ、サイド攻撃からの連続
失点に始まった中国戦は、焦りと
攻撃のいらだちからミス連続さ
せ、中国の多彩な攻撃になすがま
まにしてしまった。

後半になってもミスが続き、中
国の連続のポストプレーを許し、
続いて5連続の速攻とたたみかけ
られ、ゲームの主導権を圧倒的に
中国の握るところとなり、多くの
問題を残したゲームであった。

「得点」白鳥6点、武津3点、坂
倉、大林、太田、新田各2点、市
来1点。

▼第4戦

カナダ 30 [1614-111] 22日 本

○：降雨のため、イタリアナシ
ヨナルチームとの対戦は出来なかつたが、カナダとの対戦後であつたならば、恐らくイタリアナシヨナルチームを破ることが出来たであらうと思うほどの素晴らしいゲームであった。

カナダチームは韓国イームを32
対30と破り、日本チームにすれば
昨日悔いを残した中国戦の反省と
韓国チームを破ったカナダチーム
に善戦したいという意欲が選手全
員に乗り移り、ジュニアナシヨナ
ルとしての一体感が強く感じられ
たゲーム内容であった。

前半中は、互いの多彩な攻撃の
中で確実にサイドシュート、ノー
マークシュートを決めていたなら
ば、前半の点差は逆であつたかも
しれない。

後半においても、連続失点はし
たものの、ゲームを投げることな
く果敢に攻め、声を出してデイフ
ェンスしたことは、明日のジュニ
アへの夢を託した。

「得点」佐藤6点、市来、白鳥各
5点、坂倉3点、道上、大林、中
山各1点。

女子ジュニアイタリア遠征メンバー

監督	藤原 侑	1942. 1. 1	日本体育大学
コーチ	梶岡 俊介	1948. 2.28	ジャスコ
コーチ	鈴木 孝八郎	1942. 7.11	水海道第二高校
総務	田川 正明		
	宮崎 昭		名古屋短期大学附属高校
	繁田 順子		四天王寺高校
選手	氏名	生年月日	身長・体重 所属
G.K	1 梅津直美	1967. 3. 1	169cm59kg 日立 栃木
	12 三浦葉子	1968. 1.13	174 65 ブラザー工業
	16 村山みどり	1969. 1. 9	176 65 名古屋短附高
F.P	2 工藤寛美	1966. 6. 3	164 57 日本ビクター
	3 佐藤泰子	1966. 8. 5	169 64 東京重機工業
	4 坂倉ゆかり	1966. 9. 6	166 67 ブラザー工業
	5 道上圭子	1966.10.23	165 66 ブラザー工業
	6 大林恵子	1967. 1. 1	158 54 東京重機工業
	7 常石由香	1967. 1. 6	160 58 ジャスコ
	8 太田弥生	1967. 3. 8	162 62 日本ビクター
	9 中山美和子	1967. 4.12	158 56 立石電機
	10 新田千里	1967. 7. 3	167 65 日本体育大学
	11 武津優子	1967. 9.19	172 59 立石電機
	13 鈴木智津子	1967.10.11	170 62 大和銀行
	14 白鳥貴子	1967.11.13	168 68 筑波大学
	15 市来未央	1968. 1. 3	159 63 日本体育大学

女子国際親善試合

チェコ

「スタルト・ブラチスラバ」

4戦全勝で帰国

チェコの名門クラブチーム「スタルト・ブラチスラバ」を迎えての女子国際試合4試合が、6月28日から7月5日まで、各地で開催された。

第1戦で対戦した全日本女子は、12月の世界選手権を控え、気魄のこもった試合ぶりを見せ、終好リードを奪って優位な展開を見せたが、終盤スタミナ切れで惜しくも逆転を許してしまった。

その後、実業団チーム3チームが挑んだがいずれも善戦は見せたものの、ブラチスラバの巧さの前に敗れ去った。「ブラチスラバ」のメンバーは、こうして4戦全戦で親善試合を終え、日本での観光も楽しんで帰国した。

▼第1戦

(6月28日/東京駒沢屋内球技場)

ブラチスラバ 1712 | 1116 27 全日本女子

チェコのクラブチームの名門「スタルト・ブラチスラバ」を迎えての第1戦は、6月28日、東京・駒沢屋内球技場で全日本チームが対戦しました。

「ブラチスラバ」は、世界のサウスポールとして名高く、チェコ・ナショナルチームのエース格のジュリシノバのホームチームで、年間40試合近い、ハードなチェコの国内リーグでも、常に1・2の成績で、ヨーロッパの名門クラブチームのひとつです。

試合は、我々スタッフの予想通りの打ち合いとなりましたが、速攻を含めた攻撃も、ゴールキーパーの出来を併せた防衛の両面からふりかえってみたいと思います。

打ち合いを予想した理由は、2

月の欧州遠征で、移動日以外は各国のナショナルチーム相手の超過密日程で消化した14試合のすべてに、20点をこえる得点で、半分の7試合は25点に達し、自信を得た攻撃力にありますが、この試合も前半、小池の豪快なジャンプ、野嶋のステップからのシュートは相手の、特にGKの意表をつくコース、タイミングで決まり、たえず3、4点のリードを保てる理想的な運びとなりました。

デیفエンスは左45度のジュリシノバをマークにウエイトをおいた変型の1ー5ラインをしましたが、一応成功したのか、やや戸惑い気味で打ってくるシュートが多く、GK葛生の落着いたキーピングからの速攻への展開が幾つも生まれました。しかしつなぎの部分で、ややスムーズさを欠き、シュートに入る前にバランスを崩し、絶対に得点しなければならぬノーマークに近いシュートを教本ミ

スして、決定的なリードを奪うまでに至らなかった事が、結果に於て逆転を許す敗因のひとつにあげられ、加速されたスピードの中の、パスやキャッチ、シュートの中の正確さ、つまりハンドボールの基本技の練習をもっと徹底する必要を感じました。

ハーフタイムの更衣室で手短かに指示を与えた時、珍らしくプレイヤーが肩で息をしている事に気づき、改めて国際試合での体力消耗の激しさを知らされましたが、後半に入り、前半よく動いた小池野嶋のシュートが単調に浮き気味になりはじめたのも、前述の部分起因しているといえます。

久しぶりの日本での国際試合で、我々は幾つかの課題をもちました。特に勝つ事と、多くのプレイヤーに出場体験をさせたりする気持ちの重なり、後半4点リードの8分過ぎから、GKを含む若干の起用を試みましたが、その事でせ

つかくのチームのリズムがこわれて、後半積極的な動きをみせたら、ジュリシノバ、そして、右45度からのカットインに鋭い動きをみせたエミリアの活躍で、シーソーゲームとなった。特に、勝負どころとみたのか、小口、小深田の若いGKにゴールを任せたと約10分間に7得点され、ついに並ばれて、23分に1点のリードを許し、結局29対27の2点差で敗れました。

選手交替の難しさと、選手層の薄さが気になる所で、ベンチワークの拙さが、勝てる試合を落とした事になり、悔いを残しました。

元来、ヨーロッパのチームは体格を生かした、力のハンドボールが主流ですが、このチームは、長身の選手も少なく、肥つた選手もいなく、その分、動きがシャープで、特にゴール前の縦の動きが鋭く、日本のデیفエンスが、ふり切られるケースがあり、位置どりと、フォロワーのコンビを更に練習

各種記念品 } 製造販売
 バッチ・メタル・優勝カップ・楯
 トロフィー・ネクタイ止・金銀製品

シマダ 記章株式会社

電話 東京(03)973-0741(代) 東京都板橋区中丸町49-3
 〒173 FAX. 東京(03)973-0674

で積むべきだと感じました。また、単独チームの良さで、コンビネーションの妙ともいえるべきプレイが、幾つか見られました。日本の選手の中では、GK葛生の守り、小池野嶋のシュート、そして速攻トリオの池上、近藤、井沢のプレイが通じました。前田、岩村のリーダー、寺沢、山岸、武藤、時実などの中堅プレイヤーの頑張りをも、更に期待したい試合でした。(井薫)

▼第2戦

(6月30日/熊本)

ブラチ 31 (2011 | 1213) 25 立石電機
スラバ 31 (2011 | 1213) 25 山鹿

熊本県ハンドボール協会創立40周年の記念行事の一環として、国際親善ハンドボール熊本大会は、

チェコの「スタルト・ブラチスラバ」を招いて、6月30日、熊本県立総合体育館で、立石電機山鹿が対戦しました。
前半、立石のエース・野嶋のステップシュートが連勝して決まり、2点をリード。
「ブラチスラバ」もジュリシノバの強烈なジャンプシュートで速く追い付き、2対2。
立石はこのあと、近藤、横田の速攻で加点、5対2。こんどはエミリアが中央突破の2点と追いつ追われつのお試合となりました。
立石は野嶋と並び、打点が高く、日本リーグ前期の個人得点で第2位のエース格の山内が、3日前の全日本合宿、最終日に腰の打撲で欠場というハンデを、江口が気魄のこもったプレイで埋めてくれ

る活躍、前半を13対11の2点リードで折り返しました。
後半開始、立石はディフェンスラインを2-4にしているスタルトインを許す事になり不発に終わったが、いろんな作戦を展開出来るのが単独チームの長所であり、一進一退が続きました。
後半10分すぎ、ジュリシノバのシュートフェイントからの巧みなパスが、ポスト、逆45度にわたって加点されましたが、横田の速攻が決まり追いつく。その後、全日本との第1戦同様、後半やや疲れが見え、シュートが単調になった野嶋のプレイを待っていたように、レナータ、マグダレーナのカットインにエミリアが合わせて得点され、6点差。

立石もここで、江口が左45度からのジャンプシュートをたて続けるに3本決め、更に、岩村のポスト、新鋭・福家のサイドからの廻り込みが成功、互いに、単独チームならではのコンビプレイの応酬で、スタンドを湧かせましたが、試合は地力にまさる、「スタルト・ブラチスラバ」が最後はふりきって、31対25で終わりました。
全日本チームと同様、後半逆転される展開となりましたが、選抜と単独、各々の利点、そしてマイナス面、貴重な体験の2試合でした。梅雨のさ中で、羽田から熊本への移動は、欠航となり、福岡へ代るアクシデントもありましたが、阿蘇山への観光の時は、幸いにも青空に恵まれ、火山や、牧草に遊ぶ、牛や馬の群れに、メンバーは大喜びで、歓迎パーティ席上の歌の交歓を含めて、楽しい国際親善の大会でした。(井薫)

▼第3戦

(7月2日/甲府)

ブラチ 34 (1816 | 1211) 23 シャット
スラバ 34 (1816 | 1211) 23 レーゼ

▼第4戦

(7月5日/茨城県岩井市)

ブラチ 30 (1515 | 1413) 27 日
スラバ 30 (1515 | 1413) 27 ビクター

得0004107301067	[ブラチスラバ] [ベハグロシヨ] [ザカシヨ] [ハグロシヨ] [クニシヨ] [セバシヨ] [モガシヨ] [アホシヨ] [ホスク]	GK FP 審・後藤 田	[本]生口田藤村沢藤池上田実沢岸川嶋口山 [日]深 [全]葛山小武岩寺近小池前時井山市野小磯	得000210263202100800
29	(2)	PT	(4)	27
得00002214200092	[ブラチスラバ] [ベハグロシヨ] [ザカシヨ] [ハグロシヨ] [クニシヨ] [セバシヨ] [モガシヨ] [アホシヨ] [ホスク]	GK FP 審・大宮 本	[立石]木本下口藤口村上嶋内田中屋津利 [荒岡]竹山近江岩池野山横田福野毛	得0000273080030200
31	(6)	PT	(1)	25



中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村昭光

本社 〒108 東京都港区芝浦2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

molten[®]



MTH3 伊達球号
●天然皮革●検定球●七五前



**瞬間、
信頼の手がかり!**

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する

モルテンハンドボール

独特のリブ形状とパネル間段差の“32面体ノンスリップ構造”で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟 (I.H.F.) 公認を獲得。ハンドボールの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール協会検定球 (J.H.A.) ●国際ハンドボール連盟公認球 (I.H.F.)



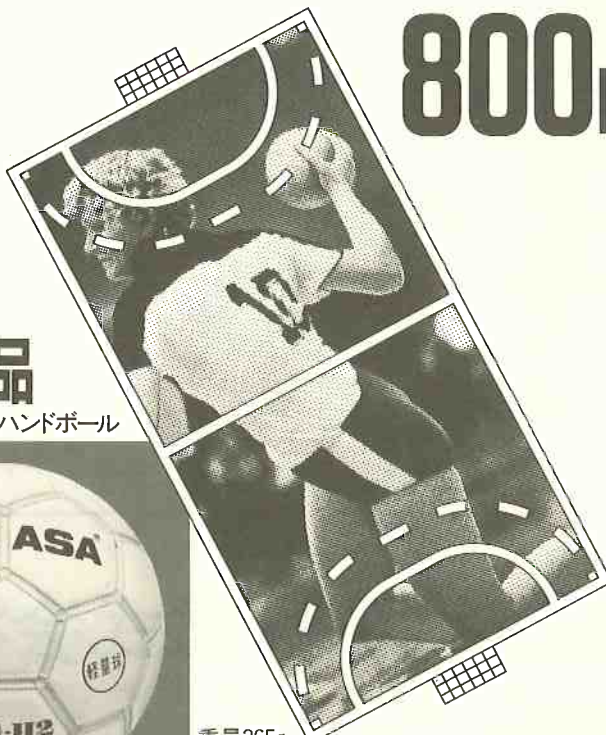
株式会社 **モルテン**
東京本社 東京都墨田区横川5-5-7 番130 西(03)575-1581
東京・大阪・広島・名古屋・福岡・札幌・ロサンゼルス・ジュネッセルドフ

800m²の青春

ねばり強いディフェンス、そして鋭いシュート! 800m²のコートにとび散る汗。ハンドボールは、頭脳と技の闘いだ。空間に舞う身体、全身がひとつになりVへのゴールにボールが躍る。ミカサのハンドボールは、優れた弾力性と強度、そして手に吸いつくような感触で全世界のプレーヤーから絶賛を浴びています。勝利を目指す人の、ミカサのハンドボール。

新製品

小学生用軽量ハンドボール



重量265g
検定球
¥3,300



MGH3

MIKASA[®]

本社/〒733 広島市西区楠木町3丁目11-2 ☎(082)237-5145 他
営業所/東京・大阪・名古屋・広島・福岡

各地の記録から...

第31回(女子14回)中国 一般選手権

(5月17、18日/江津市民体育館
温泉津町体育館)

自衛隊員 (広島)	岡山教員 (岡山)	境港ク (鳥取)	岩国ク (山口)	広島教員 (広島)	山口教員 (山口)	下関ク (山口)	広島大 (広島)	自衛隊員 (広島)	境港ク (岡山)	山口教員 (山口)	下関ク (山口)	準決勝 (山口)	山口教員 (山口)	山口 (山口)	教員団 (女子)	1回戦
28	39	29	21	24	21	27	30	34	45	37	26	31	27	1014	24	9
鳥取大 (鳥取)	松江ク (鳥取)	島根大 (島根)	岡山大 (岡山)	朝酌ク (岡山)	倉吉ク (広島)	江津ク (鳥取)	白桃ク (岡山)	岡山教員 (岡山)	岩国ク (岡山)	広島教員 (広島)	広島大 (広島)	自衛隊員 (山口)	下関ク (山口)	境港ク (山口)		

第40回愛知県高校総体

(5月25日、6月1、8日/岡崎
北高校)

桜山台 (男子)	守山 (男子)	瑞陵 (男子)	千種 (男子)	中京 (男子)	岡崎東 (男子)	岡崎西 (男子)	岡崎南 (男子)	旭東 (男子)	旭南 (男子)	名工 (男子)	豊橋 (男子)	中京 (男子)	愛知 (男子)	岡崎西 (男子)	岡崎東 (男子)	旭南 (男子)	旭東 (男子)
24	23	25	30	17	15	22	28	23	18	25	23	34	36	25	28	23	19
豊橋 (男子)	半田 (男子)	犬山 (男子)	常滑 (男子)	刈谷 (男子)	蟹江 (男子)	桜山 (男子)	守山 (男子)	国府 (男子)	瑞陵 (男子)	千種 (男子)	岡崎 (男子)	豊橋 (男子)	岡崎 (男子)	岡崎 (男子)	岡崎 (男子)	岡崎 (男子)	岡崎 (男子)

第21回鳥取県高校総体

(6月1、2日/倉吉産業高校)

米子北 (男子)	米子東 (男子)	境工 (男子)	倉吉工 (男子)	米子北 (女子)	米子東 (女子)	境工 (女子)	倉吉工 (女子)	米子北 (男子)	米子東 (男子)	境工 (男子)	倉吉工 (男子)	米子北 (女子)	米子東 (女子)	境工 (女子)	倉吉工 (女子)
30	25	22	22	23	21	22	23	23	21	22	23	23	21	22	23
米子西 (男子)	倉吉東 (男子)	米子北 (女子)	倉吉西 (女子)	米子北 (男子)	米子東 (男子)	境工 (男子)	倉吉工 (男子)	米子北 (女子)	米子東 (男子)	境工 (男子)	倉吉工 (男子)	米子北 (女子)	米子東 (男子)	境工 (女子)	倉吉工 (女子)

長野県高校総体

(日程、場所不明)

米子北 (男子)	米子東 (男子)	境工 (男子)	倉吉工 (男子)	米子北 (女子)	米子東 (女子)	境工 (女子)	倉吉工 (女子)	米子北 (男子)	米子東 (男子)	境工 (男子)	倉吉工 (男子)	米子北 (女子)	米子東 (女子)	境工 (女子)	倉吉工 (女子)
105	105	29	22	22	22	22	22	14	26	15	12	11	11	11	11
米子南 (男子)	米子西 (男子)	倉吉東 (男子)	倉吉西 (男子)	米子北 (女子)	米子東 (男子)	境工 (男子)	倉吉工 (男子)	米子北 (男子)	米子東 (男子)	境工 (男子)	倉吉工 (男子)	米子北 (女子)	米子東 (男子)	境工 (女子)	倉吉工 (女子)

松山西 準決勝 16 15 勝 山	松山東 田 12 10 椿 山 西	津田 決勝 12 7 松 山 東	▽県大会 ▽リーグ戦 松山東9 5 4 3 5 津田 11 8 3 4 7 新居浜東	津田19 11 8 3 4 7 新居浜東	松山東12 7 5 1 2 4 新居浜東	東 〔順位〕①松山東②津田③新居浜	全国クラブ選手権中国地区 予選 〔7月6日/日新製鋼具体育館〕 ▽リーグ戦 岩国ク 33 17 16 9 12 21 送球会 (山口) 境港ク 33 17 16 5 9 14 送球会 (鳥取) 境港ク 33 17 16 5 9 14 送球会 (鳥取) 境港ク 33 17 16 5 9 14 送球会 (鳥取) 境港ク 33 17 16 5 9 14 送球会 (鳥取)	〔順位〕①境港ク②岩国ク③送球会 ※上位2チームが全国大会へ。	会 〔7月12、13日/野辺地町立体育館〕 ○成年の部 ▽1回戦 野辺地ク 不戦勝 尾上ク 七戸ユニオン 28 27 青森市選抜B 青森市選抜A 54 22 海自大湊	〔7月12、13日/野辺地町立体育館〕 ○成年の部 ▽1回戦 野辺地ク 不戦勝 尾上ク 七戸ユニオン 28 27 青森市選抜B 青森市選抜A 54 22 海自大湊
----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	---	--	--	----------------------	--	------------------------------------	--	---

海自二空 準決勝 没 取 弘 前 ク	野辺地ク 青森市選抜A 46 30 5 22 海自二空	青森市 選抜A 30 15 15 15 14 29 野辺地ク	○第1戦 ○第2戦 あすなろク 26 16 10 10 20 野辺地ク	野辺地ク 26 13 13 10 11 21 あすなろク	○少年の部 〔7月19、20日/青森商高〕 ▽1回戦 三本木 青森山田 27 20 18 14 16 9 十和田工 青森 27 20 18 14 16 9 野辺地工	野辺地 19 11 8 10 8 18 青森商	▽3回戦 青森商 27 8 13 青森東 青森山田 33 27 12 26 12 9 今 青森南 青森東 33 27 12 26 12 9 今 青森南 青森東	野辺地 19 11 8 10 8 18 青森商	〔7月19、20日/青森商高〕 ▽1回戦 三本木 青森山田 27 20 18 14 16 9 十和田工 青森 27 20 18 14 16 9 野辺地工
--------------------------------------	---	---	--	--	---	---	--	---	--

青森西24 12 1 6 4 10 青森商	〔7月13日/野辺地町立体育館〕 浦町中18 12 6 4 4 8 荒川中	〔7月13日/鈴鹿市体育館〕 ▽1回戦 日本耐酸塩 日本電装 サンケミカル 22 40 17 9 15 三洋電機 パイロット インキ	〔7月13、20日/鈴鹿市体育館〕 ▽1回戦 日本耐酸塩 日本電装 サンケミカル 22 40 17 9 15 三洋電機 パイロット インキ	〔7月13、20日/鈴鹿市体育館〕 ▽1回戦 日本耐酸塩 日本電装 サンケミカル 22 40 17 9 15 三洋電機 パイロット インキ	〔7月13、20日/鈴鹿市体育館〕 ▽1回戦 日本耐酸塩 日本電装 サンケミカル 22 40 17 9 15 三洋電機 パイロット インキ	〔7月13、20日/鈴鹿市体育館〕 ▽1回戦 日本耐酸塩 日本電装 サンケミカル 22 40 17 9 15 三洋電機 パイロット インキ	〔7月13、20日/鈴鹿市体育館〕 ▽1回戦 日本耐酸塩 日本電装 サンケミカル 22 40 17 9 15 三洋電機 パイロット インキ	〔7月13、20日/鈴鹿市体育館〕 ▽1回戦 日本耐酸塩 日本電装 サンケミカル 22 40 17 9 15 三洋電機 パイロット インキ	〔7月13、20日/鈴鹿市体育館〕 ▽1回戦 日本耐酸塩 日本電装 サンケミカル 22 40 17 9 15 三洋電機 パイロット インキ
---	--	--	---	---	---	---	---	---	---

柏崎ク31 16 15 2 3 5 小松造機	〔7月20日/柏崎工業高校〕 柏崎ク 26 19 新潟教員	〔7月21、22日/愛媛県体育館〕 ▽1回戦 松山西 27 12 高松商 (愛媛) 土佐 28 17 三好農林 (高知) 新居浜工 26 10 高松西 (愛媛) 池田 20 19 追手前 (徳島) 松山西31 13 18 12 4 16 土佐	〔7月21、22日/愛媛県体育館〕 ▽1回戦 松山西 27 12 高松商 (愛媛) 土佐 28 17 三好農林 (高知) 新居浜工 26 10 高松西 (愛媛) 池田 20 19 追手前 (徳島) 松山西31 13 18 12 4 16 土佐	〔7月21、22日/愛媛県体育館〕 ▽1回戦 松山西 27 12 高松商 (愛媛) 土佐 28 17 三好農林 (高知) 新居浜工 26 10 高松西 (愛媛) 池田 20 19 追手前 (徳島) 松山西31 13 18 12 4 16 土佐	〔7月21、22日/愛媛県体育館〕 ▽1回戦 松山西 27 12 高松商 (愛媛) 土佐 28 17 三好農林 (高知) 新居浜工 26 10 高松西 (愛媛) 池田 20 19 追手前 (徳島) 松山西31 13 18 12 4 16 土佐	〔7月21、22日/愛媛県体育館〕 ▽1回戦 松山西 27 12 高松商 (愛媛) 土佐 28 17 三好農林 (高知) 新居浜工 26 10 高松西 (愛媛) 池田 20 19 追手前 (徳島) 松山西31 13 18 12 4 16 土佐	〔7月21、22日/愛媛県体育館〕 ▽1回戦 松山西 27 12 高松商 (愛媛) 土佐 28 17 三好農林 (高知) 新居浜工 26 10 高松西 (愛媛) 池田 20 19 追手前 (徳島) 松山西31 13 18 12 4 16 土佐	〔7月21、22日/愛媛県体育館〕 ▽1回戦 松山西 27 12 高松商 (愛媛) 土佐 28 17 三好農林 (高知) 新居浜工 26 10 高松西 (愛媛) 池田 20 19 追手前 (徳島) 松山西31 13 18 12 4 16 土佐	〔7月21、22日/愛媛県体育館〕 ▽1回戦 松山西 27 12 高松商 (愛媛) 土佐 28 17 三好農林 (高知) 新居浜工 26 10 高松西 (愛媛) 池田 20 19 追手前 (徳島) 松山西31 13 18 12 4 16 土佐
--	--	---	---	---	---	---	---	---	---

make-up tomorrow

メイク・アップ・トゥモロウ。

財産の運用、ローンのご利用、不動産や年金、相続・贈与の設計など
お客さまとともに明日を創造するBANK、〈ダイワ〉をご利用ください。



あなたと明日を
和 大和銀行

MIZUNO

THE WORLD OF SPORTS



パワー効率重視。コートのマシン〈ランバード〉

室内コート専用のマルチファンクションソール。

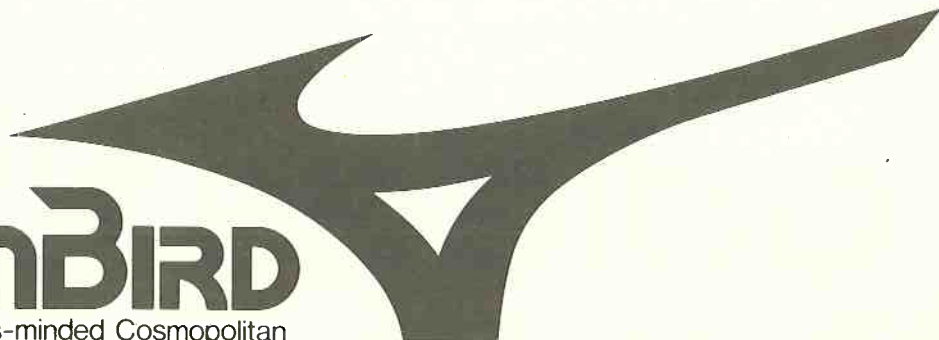
前後左右、あらゆる方向へのトラクション性にすぐれたヘリホーン意匠をベースに、かかとには着地時の衝撃を吸収、分散するコンケーフ意匠を配置。また、ソール前半にはパワーロスを防ぐサイドモーションサポートリップ、回転運動の軸となるピボットリングをはじめ、屈曲性を高めるフレキシブルゾーンなどをレイアウト。多様なプレーに対応するソールパターンが生まれました。

〈ランバード〉ハンドボール シューズ
《ウイング ショット》 ¥12,000

- 甲/牛革 ●補強材/人工皮革 ●底/ラバー ハーフシェルソール
- カラー/16KH-1527 ホワイト・レッドにメタリックネイビーライン
/16KH-1562 ホワイトにレッドライン

RUNBIRD

for The Sports-minded Cosmopolitan



競技用具の検定について

日本ハンドボール協会では、ハンドボール競技の適正な実施および安全への配慮などの点から、従来より検定制度を実施していたボール、ゴールネットに続き61年度からゴールの検定制度を実施することになりました。これにより、競技には『検定ボール』『検定ゴールネット』『検定ゴール』を使用することにより公式競技として認められることとなります。

新たに、検定制度を実施するゴールにつきましては、昭和61年4月1日以前に購入されていて競技規則に適合し、耐用期間中のゴールについては、移行措置として引続き使用出来るものとしますが、以後新たに購入する場合は、下記の検定ゴール業者が製造する『検定ゴール』（検定証貼付）を購入されるようお願い致します。

なお、兼ねてから検討しておりました『小学生ハンドボール』について、このたび『軽量2号ボール』（重量265g±15g。周囲54～56cm）が検定ボールとして決定しましたのでお知らせ致します。

ハンドボール用ゴール 検定業者一覧

社名	所在地
イノコ 株式会社	〒454 愛知県名古屋市中川区山王4-6-34 TEL 052-331-3311 (代)
株式会社 都村製作所	〒766 香川県仲多度郡琴平町590 TEL 0877-73-2251 (代)
栗林体器 株式会社	〒877 大分県日田市玉川町69 TEL 0973-22-5151 (代)
株式会社 関西金属 運動具製作所	〒111 東京都台東区松が谷2-7-9 TEL 03-841-6604 (代)
株式会社 三英商会	〒270-01 千葉県流山市初石5-146 TEL 0471-53-3621 (代)
三和体育製販 株式会社	〒332 埼玉県川口市緑町9-15 TEL 0482-55-6121 (代)
稲荷体育用品 株式会社	〒061-24 北海道札幌市西区手稲山口438 TEL 011-682-2351
合名会社 上坂鉄工所	〒131 東京都墨田区本所4-28-8 TEL 03-622-8171 (代)
株式会社 小川長春館	〒721 広島県福山市引野町5-46 TEL 0849-41-0230
株式会社 舟岡製作所	〒130 東京都墨田区石原4-34-2 TEL 03-624-0551 (代)
セノ一 株式会社	〒101 東京都千代田区神田司町2-7 TEL 03-292-5411
株式会社 中村体育器具工場	〒386-01 長野県上田市国分仁王堂1190-4 TEL 0268-22-0896 (代)
株式会社 藤英	〒110 東京都台東区入谷1-9-10 TEL 03-876-0641-3
赤羽根工業 株式会社	〒343 埼玉県越谷市増森207-1 TEL 0489-65-1571 (代)

ハンドボール用ボール 検定業者一覧

社名	所在地
入間川ゴム 株式会社	〒350-13 埼玉県狭山市入間川1-15-40 TEL 0429-53-3131
株式会社 モルテン	〒130 東京都墨田区横川5-5-7 TEL 03-621-4551
明星ゴム工業 株式会社	〒733 広島県西区楠木町3-11-2 TEL 082-237-5145
タチカラ 株式会社	〒111 東京都台東区松ヶ谷1-11-7 TEL 03-842-6811 (代)

ハンドボール用ゴールネット 検定業者一覧

社名	所在地
テイエスネット 株式会社	〒136 東京都江東区亀戸4-45-15 TEL 03-637-3232 (代)
鐘屋産業 株式会社	〒581 大阪府八尾市 振町3-18 TEL 0729-96-5656
松本製網 株式会社	〒581 大阪府八尾市福万寺町4-72 TEL 0729-22-3217
株式会社 アシックス	〒650 神戸市中央区港島中町7-1-1 TEL 078-303-3333 (代)
高須賀 株式会社	〒136 東京都江東区亀戸3-43-24 TEL 03-684-7791
株式会社 寺西商店	〒581 大阪府八尾市福万寺町4-31 TEL 0729-22-3210
有限会社 ミセキネット製作所	〒340-01 埼玉県東葛飾郡幸手町中1-7-4 TEL 0480-42-0379

昭和61年度 A・B級審判員合格者

○A級 (23名中合格13名=東京)

山本浩之、浅井隆志 (大阪)、柳原勉、真木崇 (愛媛)、高木進 (青森)、細沢覚 (静岡)、柳比丈司、川合常雄 (岐阜)、庄司勝三 (福井)、中山富夫、大出治男 (栃木)、杉山努 (東京)、上小沢仁志 (山梨)

○B級

＜東北地区 (18名中合格14名=仙台)＞

星保信、伊藤靖、清水勝、棚橋伸男、錦織進 (北海道)、高橋元一、小笠原忠芳 (岩手)、遠藤薫、芳賀弘一 (山形)、工藤茂、藤本幸一 (青森)、池田加一、小林敏、照井裕幸 (宮城)

＜東地区 (16名中合格12名=茨城)＞

鈴木孝八郎、立原定宗、細谷安司、塚田芳明、田中栄、高野実、松信登、矢萩勉、富永保、中村博之 (茨城)、藤井裕央 (東京)、大鐘雅善 (千葉)

＜中地区 (18名中合格14名=京都)＞

楓健児、渡辺真彦 (愛知)、平賀達也、中森一郎、宇尾野章 (三重)、武田憲樹、太田朗、崎山充博、井上清光、能波羊二 (滋賀)、佐路清隆、西村純 (京都)、吉村剛志、佐谷光一 (大阪)

＜西地区 (15名中合格11名=鹿児島)＞

野村幹雄、加藤晃 (山口)、田中達男 (愛媛)、田中守、川村浩之、知佐野健吾、池田修 (福岡)、鎌田良治、大川内誠 (長野)、荷川取孝吉、宮元章次 (沖縄)

adidas®



株式会社デサント/デサントトレーディング株式会社



高度なスカイブレーが変幻自在。

スカイハンド_®スペシャル (THH705)

- カラー ホワイト×レッド×レッド×ホワイト×ロイヤルブルー×ホワイト
- サイズ 22.5-28.0cm
- アッパー ステア表革(ホワイト×レッド)
牛革ペロア(レッド×ホワイト、ロイヤルブルー×ホワイト)

標準小売価格 ¥13,000



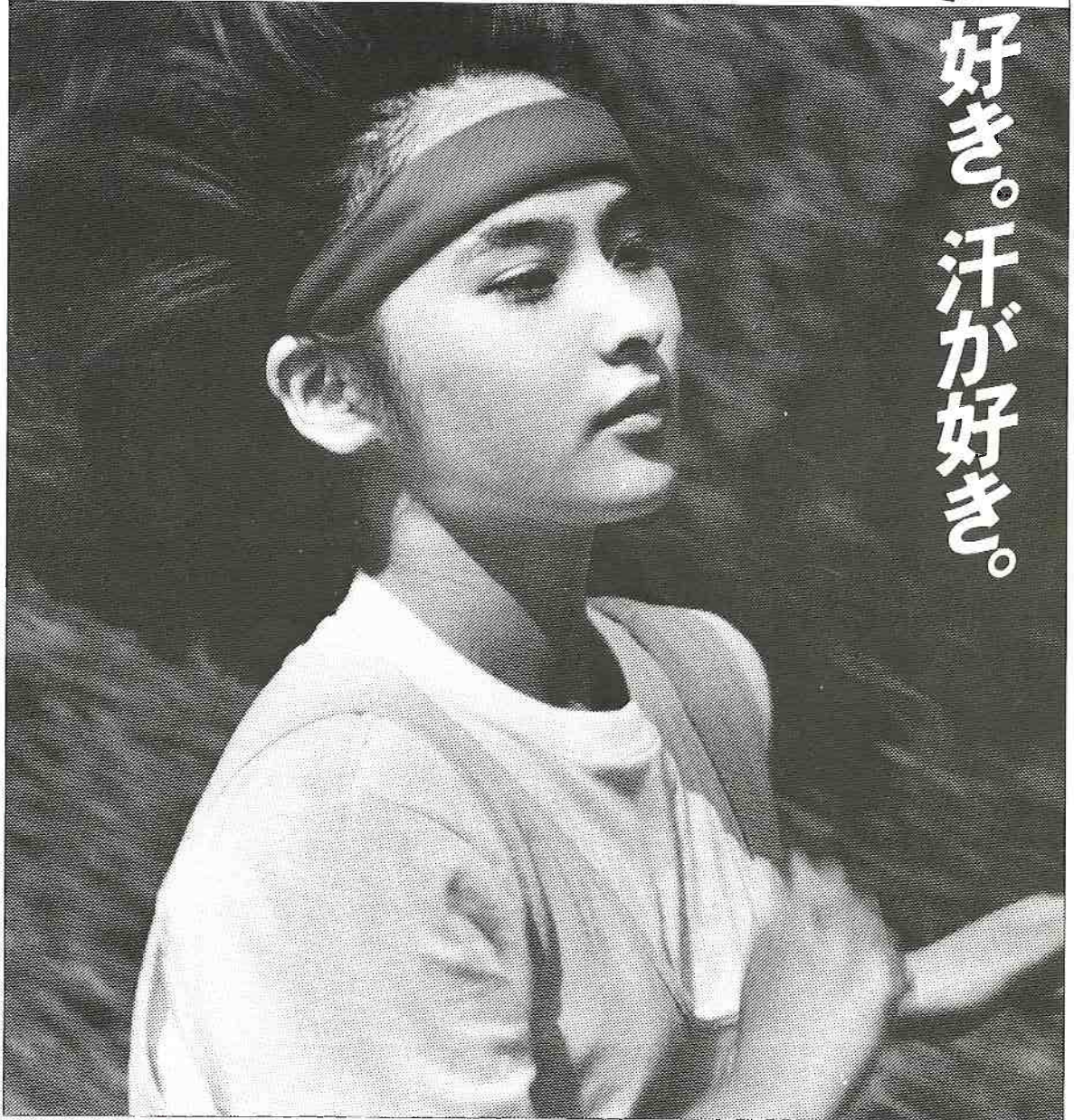
驚く!

ストップ&ジャンプ性能を徹底追求したシムズ・スキャン・イン・下の・スキャン・ル
つま先からかかとまで衝撃吸収性に富む超軽量スポンジEVAを内蔵
したカッパソールが、素晴らしい軽さ、ソフトな着地感、ストレッチ性を獲得しま
した。アクロバチックなスカイ・レイを繰り広げながら、「フット」ジャンプの高
のような圧倒的迫力でゴールを襲うハンドボールに接します。

スポーツが好き。汗が好き。

笑顔があります。涙があります。
躍動があります。記録への挑戦があります。
チームプレイの和があります。
からだを動かしていると
人生の大切なものがたくさん見えてきます。
新日鉄は、スポーツを通し
心身を鍛える皆様に声援をおくります。

 **新日本製鐵**



(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第二五四号

昭和四十年六月
第三種郵便物認可

昭和六十一年七月二十五日 印刷
昭和六十一年八月一日 発行

東京都渋谷区
電話代
振替東京六十二三六一番
編集兼
発行人

大野金一

定価三百五十拾円
(年間購読料
三千三百円)